

在宅サービスにおける介護度変移調査概要

1. 作業概略

○同一の介護業務支援ソフトを導入している5生協およびコープかながわに協力いただき、介護度の変移を調査した。

<集計対象・期間>

- ・集計対象は2006年度から(コープかながわは2007年度から)3年間で、「予防訪問介護」、「予防通所介護」、「訪問介護の身体介護」、「訪問介護の身体+生活援助」、「訪問介護の生活援助」、「通所介護」のいずれかのサービスのみを利用した人とした。(サービスの複数利用はなし)
- ・分析は、3年間の介護度の推移を比較し、介護度が2段階以上改善している場合を5点、1段階改善のものを4点、維持を3点、1段階悪化を2点、2段階以上悪化を1点として点数化しその平均値で比較を行った。

2. データ提供生協・提供データ数

生協名	データ数
ちばコープ(千葉)	1,701
さいたまコープ(埼玉)	599
コープとうきょう(東京)	274
ふれあいコープ(栃木)	1022
エスコープ大阪(大阪)	509
<同一介護業務支援ソフト導入生協> 計	4,105
コープかながわ(神奈川)	539
総計	4,644

※コープかながわは導入ソフトが異なるため、別途集計をかけた。(なお、期間も2007年度からの3年間を対象とした)

※3カ年比較：2006年4月と2009年3月の介護度変化を提供データ内で相対比較。上記提供データに、2006年4月と2009年3月の介護度データが入力されているもの、かつ単独サービス利用者のみで絞り込みをかけた。結果、分析対象データ数は同一介護業務支援ソフト導入生協が590データ、コープかながわが539となった。

3. 分析結果

○全体の平均値と比べ、訪問介護の生活援助サービスおよび要支援者を対象とした予防訪問介護の平均値が高い(=介護度の維持・改善効果あり)結果となった。

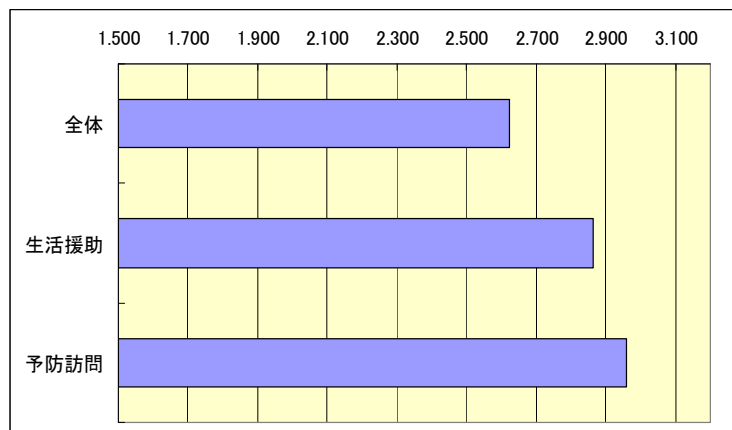


生活援助の介護度変移調査(5生協+コープかながわ)



介護度改善度合	【評価点】	全体	生活援助	予防訪問
2段階以上悪化	1	150	11	6
1段階悪化	2	252	20	40
維持	3	632	106	115
1段階改善	4	65	11	22
2段階以上改善	5	30	5	11
	人数総計	1129	153	194
	評価点平均	2.622	2.863	2.959

平均介護度	全体	生活援助	予防訪問
	2.2	1.6	0.9



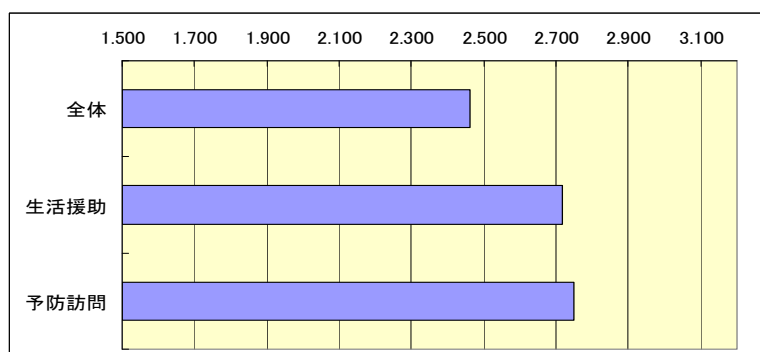
生活援助の介護度変移調査(5生協)



(2006年度-2008年度調査)

介護度改善度合	【評価点】	全体	生活援助	予防訪問
2段階以上悪化	1	116	9	5
1段階悪化	2	123	15	10
維持	3	317	67	11
1段階改善	4	20	4	
2段階以上改善	5	14	1	6
	人数総計	590	96	32
	評価点平均	2.463	2.719	2.750

2009年3月時点	平均介護度	全体	生活援助	予防訪問
		2.5	1.5	0.6
	平均生年月日	1925/1/14	1928/1/19	1926/2/9





生活援助の介護度変移調査(コープかながわ) (2007年度-2009年度調査)



介護度改善度合	(評価点)	全体	生活援助	予防訪問
2段階以上悪化	1	34	2	1
1段階悪化	2	129	5	30
維持	3	315	39	104
1段階改善	4	45	7	22
2段階以上改善	5	16	4	5
人数総計		539	57	162
評価点平均		2.777	3.105	3.000

2010年3月時点	平均介護度	1.9	1.8	0.9
-----------	-------	-----	-----	-----

